スリープグラフ
取扱説明書
（簡易版）

第7版（2023年6月）

（株）プロアシスト

＜医療関係者の方へ＞

- 本書は、医療関係者の指導の下で被験者がスリープグラフを使用する場合を想定して作成されています。
- 必ず本書及び取扱説明書(正規版)をお読み頂き、被験者様への説明にお使いくださいますようお願い致します。

下記URL または 右のQRコードよりプロアシストHPにアクセスし、ご確認下さい。
URL： https://www.proassist.co.jp/SleepGraph/software/

＜ご注意頂きたいこと＞

- 測定結果に影響する為、脳波測定時は電気毛布等を使用しないで下さい。
- 電極は浮かないようにしっかりと肌に貼り付けて下さい。貼り付ける際に、髪の毛が入ってしまうと、電極が浮く原因となります。
- 電極の貼る位置を必ず確認して下さい。特に耳の後ろに貼る際はご注意下さい（8ページ参照）。
- 朝起きたら、送信機の電源は必ずOFFにして下さい。

入っているもの

※ご使用前に必ずご確認下さい



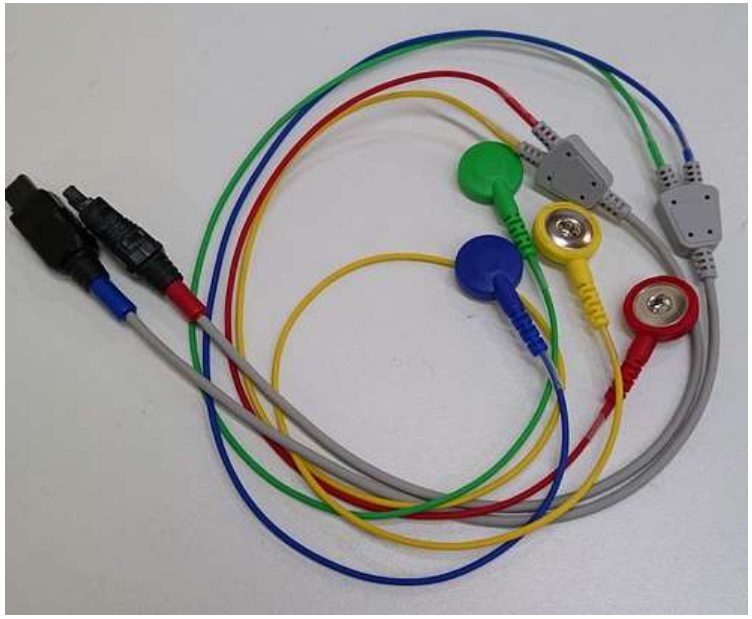
受信機



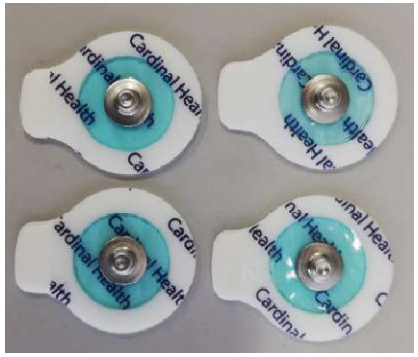
送信機



メモリーカード



脳波ケーブル（黄・赤）
筋電ケーブル（青・緑）



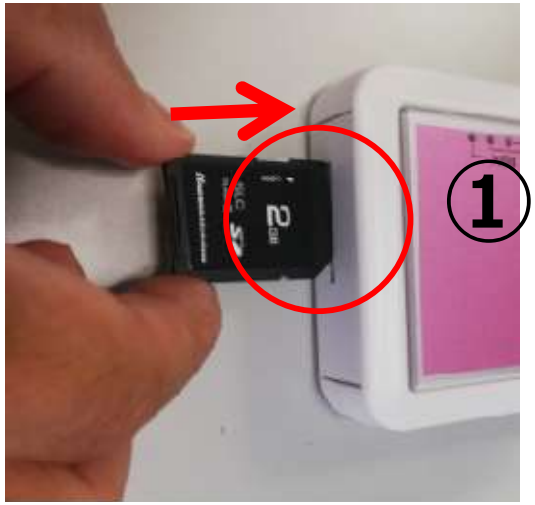
電極（ 1回計測：4個）



ACアダプタ

・電池（2個で24時間計測）
※１晩計測ごとの交換をお勧めします

受信機の準備



①メモリーカードを受信機に入れて下さい。指で軽く押し込んで下さい





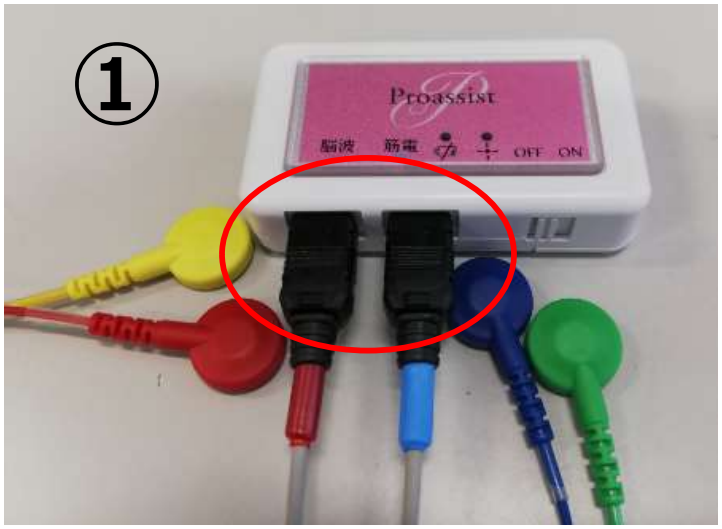
② ACアダプターのDCプラグを受信機に差し込んでください

③コンセントに接続します

送信機の準備

①**脳波ケーブル（黄・赤）と筋電ケーブル（青・緑）を送信機の、脳波、筋電それぞれの差し込み口に、カチッと音がするまで差込みます**





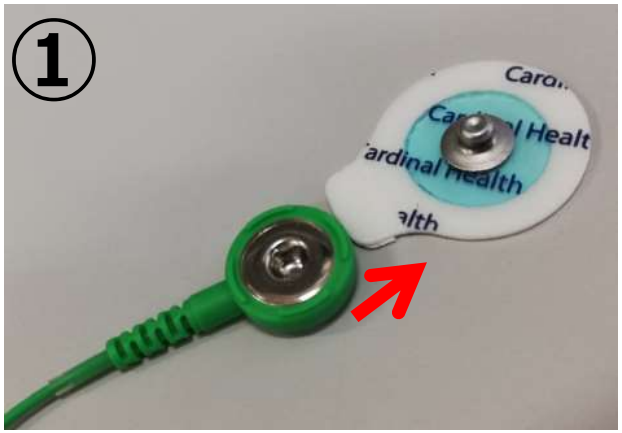


②差し込み方

ケーブルの先端部分に矢印➡が書いてあるので矢印の方向に差し込んで下さい

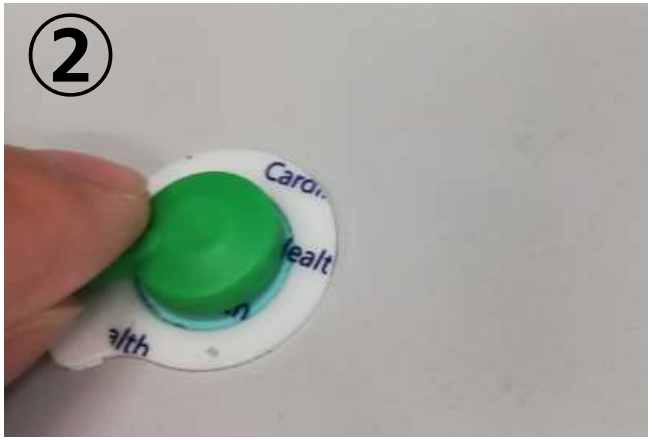
電極の準備

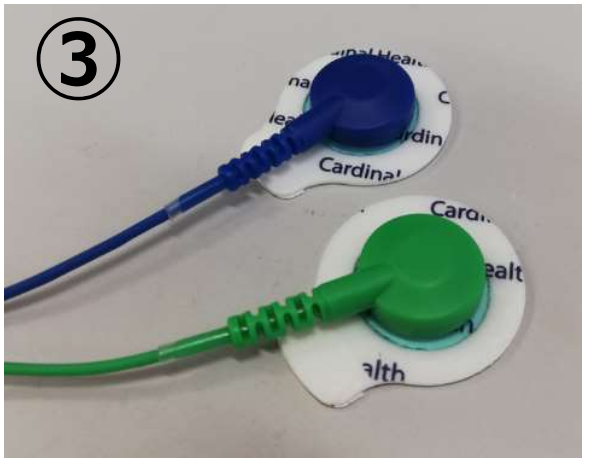
※電極は測定1回毎の使い捨てです。
測定前に新しいものに取りかえて下さい



①筋電ケーブル（青・緑）に
電極を接続します

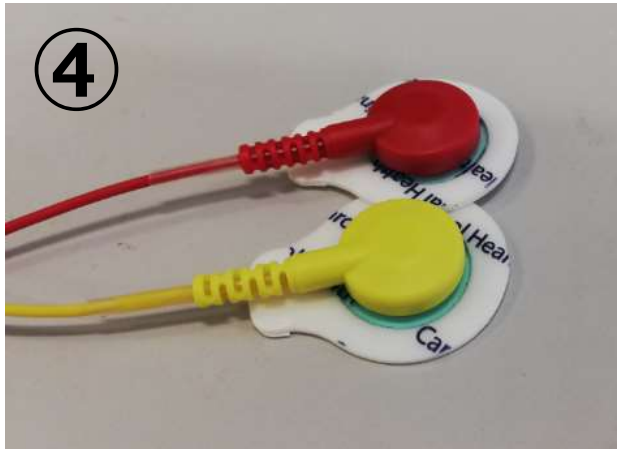
②ボタンを留める感覚でカチッと
音がするまで指で軽く押えながら
電極を取り付けます





③このようになります

④脳波ケーブル（黄・赤）も
同じように取り付けます



送信機の電池の取扱いについて

ボタン電池の挿入方向を間違えると、故障の原因になりますのでご注意ください

＋マークを上にして入れてください（右図参照）





ボタン電池の型式にご注意ください
PR44

<電 池>

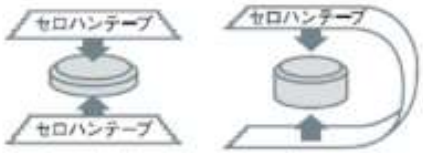
⚠ 警告	
禁止	1．送信機に挿入した電池にふれたまま、被験者の体に触れない。 2．PR44 以外の電池は使用しない。 （類似品の LR44 の使用は保証対象外）

→ power one製またはパナソニック製をご使用ください。

必ず守る	
	1．長期間使用しないときは電池を取り出す。 2．使い切った電池はすぐに取り出す。 （電池の発熱・発火・破裂・電池の液漏れによるけがの原因となります。） 3．破損により電池の薬液が皮膚や衣類に付着した時は、直ちに多量の水で洗う。 4．電池交換は管理者が行う。

→ 電池2個で24時間程度、計測可能です。
※１晩計測ごとの交換をお勧めします。

電池の保管について



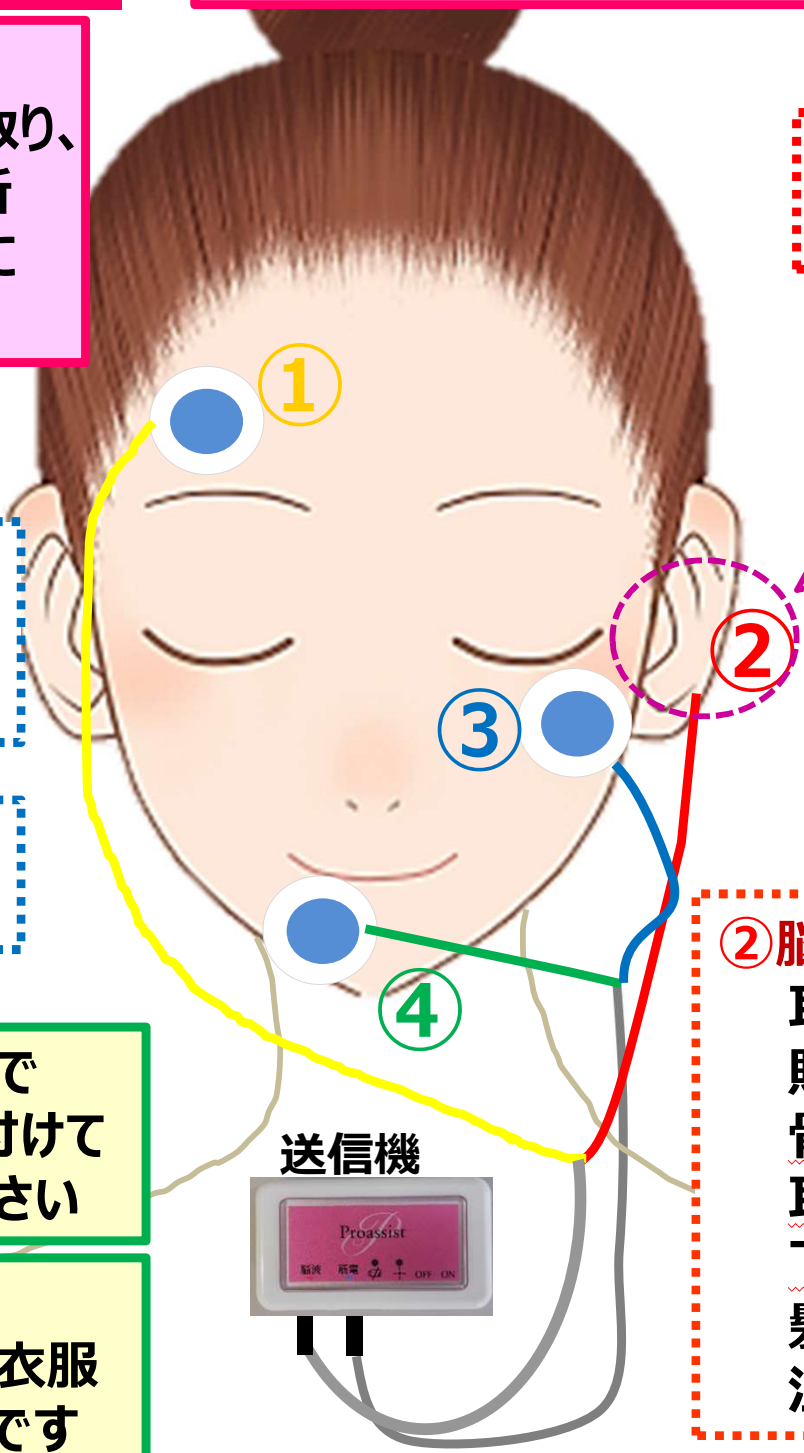
包装から取り出した後、ボタン電池を保管、廃棄する際は、
極間のショートを防ぐために、それぞれの電池の全ての電極に
セロハンテープやビニールフィルムなどを貼り付けるなどして、絶縁してください。
セロハンテープを複数用いて電池表面を完全に覆って下さい。

参考：一般社団法人電池工業会　http://www.baj.or.jp/recycle/recycle02.html

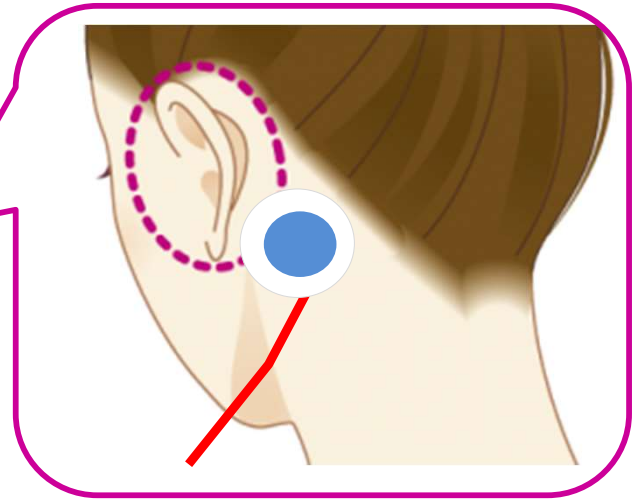
電極を貼り付けます

電極は浮かないようにしっかりと貼り付けて下さい

電極を貼り付ける場所は
消毒綿で肌の油分を拭き取り、
乾かしてから、脳波用2か所
❶❷ 、筋電用2か所❸❹に
ディスポ電極を貼り付ける



①脳波ケーブル（黄）を
右眉の上に貼り付ける



③筋電ケーブル（青）を
左目尻（下側）に
貼り付ける

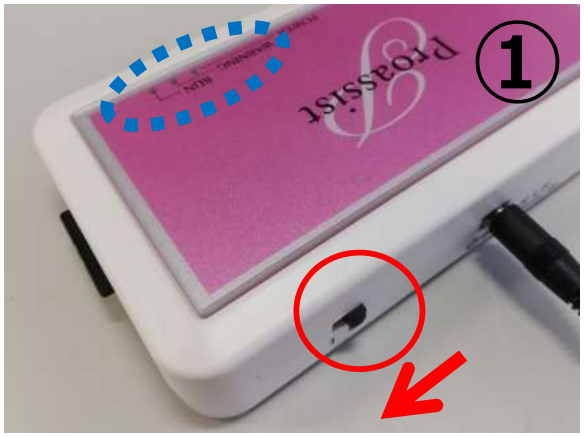
④筋電ケーブル（緑）を
顎の下に貼り付ける

②脳波ケーブル（赤）を
耳の後ろの骨が出ているところに
貼り付ける
骨より下側のやわらかい部分や、
耳たぶには掛からないようにして
下さい！
髪の毛をはさみ込まない様に
注意して下さい

送信機はサージカルテープで
衣服（肩の辺り）に貼り付けて
動かないように固定して下さい

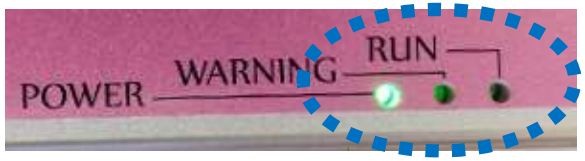
脳波、筋電のケーブルも
ゆとりを持たせて、テープで衣服
に固定すると計測しやすいです

電源を入れます(1)





①受信機の電源を入れます
O（OFF） → I（ON）



Powerが点灯していることを確認して下さい



②送信機の電源を入れます
OFF → ON



③LEDの点滅の色を確認します

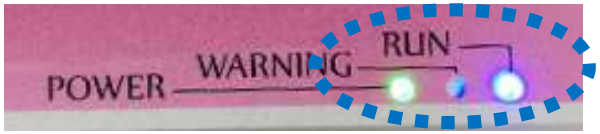
- (青LED)1秒毎に点滅：正常
- (青LED)2秒毎に点滅：送受信機間の通信異常
- (黄LED)点滅：電池残量が少ない
  どちらも点滅しない→電池がありません

電源を入れます(2)

※通信の確認は、就寝する場所で行って下さい

④受信機を確認します

正常な場合



Powerが点灯しており
Runが点灯している

PowerとRunが点灯している場合
計測が、正常に始まっています



エラーの場合

●Runが点滅している場合
送信機とつながっていません



●WARNINGが点灯または点滅している場合
メモリーカードが正しく入っていない
または受信機の電源が途中で切れた
可能性があります



送信機の電源を切ります
↓
受信機の電源を切ります
↓
メモリカードが正しく入っているかを確認し
再度、「電源を入れます(1)」から行います

それでもエラーになる場合は…
・受信機と送信機の位置を近づける
・受信機と送信機の間に金属製の遮へい物はおかないで下さい

補足

1）送信機の電池について



※送信機の電源を入れた際、
「黄LEDが点滅する」、もしくは
「LEDが何も光らない」場合は、
電池を交換して下さい

- (青LED)1秒毎に点滅：正常
- (青LED)2秒毎に点滅：送受信機間の通信異常
- (黄LED)点滅：電池残量が少ない
  どちらも点滅しない→電池がありません

2）送信機の電池交換方法

①送信機の底面の溝に、
硬貨などの硬いものを差し込み、
回転させて蓋を開けます

②古い電池を取り出します

③送信機の蓋を斜めから差し込み、
左右両端をパチッと音がするまで
押し込みます

電源を切ります(1)

①翌朝起きたら、
受信機を確認します

正常な場合



Powerが点灯しており
Runが点灯している場合

PowerとRunが点灯している場合
計測が、正常にできています



エラーの場合

●Runが点滅している場合送信機とつながっていません
測定中に送信機との通信が途切れた可能性があります



●WARNINGが点灯または点滅している場合
メモリーカードが正しく入っていない、または受信機の電源が途中で切れた可能性があります



送信機の電源を切ります
↓
受信機の電源を切ります
↓
メモリカードのデータを確認し
異常があれば、再計測が必要となります

電源を切ります(2)



②送信機の電源を切ります
ON → OFF

※朝起きたら、必ず送信機の
電源は切って下さい

(切り忘れると、電池がすぐに
なくなり、計測できなくなります)

※切り忘れた場合の為にも、電池は
１晩計測ごとの交換をお勧めします



③受信機の電源を切ります
I（ON） → O（OFF）